

忘れても出会いがっなぐこの一歩

——認知症は誰もが関わる身近な問題です！



現 在日本では、65歳以上の約4人に1人が認知症またはその予備軍といわれています。

認知症は誰でもなる可能性のある脳の病気です。しかし、周りのサポートや安心できる環境、適切な治療があれば、認知症になっても自分らしい生活を長く続けることができます。認知症を正しく理解し、共に生きていく社会を作りましょう。

心強い味方

「認知症初期集中支援チーム」

認知症への対応の研修を受けた医師や保健師等で構成された「認知症初期集中支援チーム」。認知症の方、または認知症の疑いがある方に早い段階から関わり、本人の状態やご家族の話聞きながら、専門医療機関の紹介や、介護保険等のサービスの利用につながるよう支援していきます。

主に、村内在住の40歳以上で、認知症が疑われる症状のある方や、認知症の診断を受けているが介護サービスをうまく利用できていない方等に対応しています。

支援やサービス、相談窓口を紹介 「認知症ケアパス」

「認知症ケアパス」は、たとえ認知症になっても、住み慣れた地域で、できる限り自分らしい生活を送っていただくために、認知症の状態に応じてどのような支援やサービスが受けられるのか等を紹介するガイドブックです。自分でできる「認知症の気づきチェックリスト」もありますので、ぜひ手に取ってご利用ください。



▽「なごみ」総合支援センター▽高齢福祉課(役場行政棟1階)▽総合福祉センター「絆」▽各コミュニティセンター
——で配布しているほか、村公式ホームページからもダウンロードできます。

村では、認知症に関するもののほか、介護予防支援に関することなど、高齢者のさまざまな相談に対応しています。困りごと等のある方は、お気軽にご相談ください。

受講しませんか？ 認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る「応援者(=認知症サポーター)」になりませんか。

期 日▼9月17日(木)

時 間▼午前10時～11時

場 所▼ウエルシア東海舟石川店(舟石川駅西2-9-12)

費 用▼無料

その他▼受講者には、認知症サポーターの目印である「オレンジリング」をお渡しします。

申し込み▼事前に、地域包括支援センター(☎287-2516)へ申し込みください。

